

- 1 日時 平成26年6月17日（火）9時30分～16時30分
- 2 行程
  - ①鉄骨ハウス建設現場（深谷市 木村友一氏）
  - ②ミニトマト栽培状況（深谷市 澁澤美知夫氏）
  - ③JA埼玉ひびきの
  - ④昼食：レストラン「サルサーレ」（県産農産物サポート店）
  - ⑤鉄骨ハウス建設現場（本庄市 鹿田修一氏）
  - ⑥ねぎの栽培状況（本庄市 大塚悟氏）
  - ⑦葉しょうが栽培状況（本庄市 金井幹雄氏）
  - ⑧スイートコーンの栽培状況（深谷市 榛沢新田地区）
  - ⑨道の駅おかべ

### 3 内容



- ・農林部長がガイド役。  
車中で2月の大雪の被害状況や復興への取組を紹介。
- ・大雪で倒壊した木村氏の鉄骨ハウス建設現場を見学。  
木村氏から当時の被害状況や再建への想いを伺った。
- ・次に、大雪による倒壊を免れた澁澤氏のハウスでミニトマト栽培を見学。  
甘くて皮の柔らかいミニトマトを試食。

#### (1) 鉄骨ハウス建設現場（深谷市）



#### 【質疑、感想等】

- ・倒壊した鉄骨ハウスの再建をいち早く決断した勇氣に感動した。
- ・ハウスの撤去作業の大変さが分かった。
- ・若手の後継者が育っているのがたのもしく思えた。
- ・美味しいトマトを育て、安全・安心な野菜を消費者に届けたいという想いが伝わった。



#### (2) ミニトマトの栽培状況（深谷市）



### (3) J A 埼玉ひびきの



- ・ J A 埼玉ひびきのは2月の大雪に対して「雪害対策室」を設置し、組合員への対応に当たる。
- ・ 管内のハウス再建状況や再建の課題について説明と意見交換をした。
- ・ J A 埼玉ひびきの内のイタリアンレストラン「サルサーレ」で、地元食材を使ったオムライスメニューを堪能。

#### 【質疑、感想等】

- ・ 大雪の影響で農業を辞めた人はいるのか。  
（9割の人が再建を予定している。大雪による離農者はいない）
- ・ ランチメニューは県産野菜等がふんだんに使われていて美味しかった。

### (4) 昼食・レストラン「サルサーレ」



### (5) 鉄骨ハウス建設現場（本庄市）

### (6) ねぎの栽培状況（本庄市）

- ・ 6月末に完成予定の鹿田氏の鉄骨ハウス建設現場を見学。  
8月末から9月上旬にはきゅうり栽培を再開させる予定。  
パイプハウスから大型鉄骨ハウスに集約し、規模拡大を図る。
- ・ 次に、高温、干ばつ、湿害、害虫対策として大麦を活用したリビングマルチ栽培を実施している大塚氏のねぎ栽培を見学。

#### 【質疑、感想等】

- ・ 新しい鉄骨ハウスは多方面に工夫がされているのがよく分かった。  
今後の大雪には是非耐えてほしい。
- ・ 少しずつ復興する姿が未来につながっている気がした。
- ・ 大麦リビングマルチ栽培には驚いた。



(7) 葉しょうがの栽培状況（本庄市）



- ・金井氏の再建したパイプハウスを見学。中心品目の葉しょうがは、施設栽培、トンネル栽培、露地栽培の組み合わせにより、長期出荷を実現。雪害対策として連棟ハウスから単棟ハウスへの改善を図る。
- ・金井氏から生産への想いを伺った。

【質疑、感想等】

- ・厳しい環境の中、前向きな姿勢に感銘した。
- ・葉しょうががまだ小さかったため、もう一度見てみたい。
- ・金井氏の「普通のを普通に作る」という話が印象に残り、そのことが広く県民の食を支えていることを知った。



(8) スイートコーンの栽培状況（深谷市）

(9) 道の駅おかべ（深谷市）



- ・深谷市榛沢新田地区のスイートコーン栽培状況を見学。
- ・スイートコーンの品種は、糖度が高く歯切れがよい「味来390」を始め、「味来130」「味来14」の味来シリーズが主力。
- ・生のスイートコーンをもぎ取って試食。

【質疑、感想等】

- ・名前の由来が気になった。
- ・生のスイートコーンがとても美味しかった。
- ・生でかじっても甘くてみずみずしかった。
- ・夜中から朝にかけて収穫することで糖度や美味しさを守っていることがわかった。

#### 4 ツアー参加者の感想

- ・実家が埼北のため雪害について知っているつもりだったが、知らないことがたくさんあった。県産野菜の魅力を伝えていけるよう協力したいと思う。（企業）
- ・雪害は知っていたがここまでとは思わなかった。覚悟を決めて伝えていきたいと思う。長い目で共に歩んでいきたい。（野菜ソムリエ）
- ・大雪によって倒壊したハウスを目にしたことがなかったが、現場を見て何十年もかけたものが1日で壊れてしまう恐ろしさを知った。このことを伝えていきたい。（マスコミ）
- ・雪害は知っているつもりだったが、現場でハウス倒壊の爪跡を目の当たりにして実際は知らなかったということのギャップに衝撃を受けた。生産者の前向きな姿勢に感銘を受けた。（サポート店）
- ・雪害にあわれた生産者の話をゆっくり聞けて良かった。埼玉農業には頑張ってもらいたい。（その他）